



青森県感染症発生情報 (2017年第43週)

I 第43週の発生動向 (2017/10/23~2017/10/29)

1. 手足口病については、**上十三保健所管内、むつ保健所管内**で**警報**が継続しています。県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してやや多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内で定点当たり報告数が前週の2.30から4.50に増加し、警報レベルの開始基準値(5)に近づいていますので注意が必要です。
2. **水痘**については、県全体の定点当たり報告数が前週の0.21から0.60に増加し、特にむつ保健所管内では定点当たり報告数が前週の0.75から2.50に増加していますので注意が必要です。
3. **流行性耳下腺炎**については、県全体の定点当たり報告数が過去5年間の同時期と比較してかなり多く、特に三戸地方+八戸市保健所管内では定点当たり報告数が2.50に増加し、注意報レベルの基準値(3)に近づいていますので注意が必要です。
4. インフルエンザの迅速診断キットによる型別の報告はA型10人でした。

II 第43週五類感染症定点把握

※記載データは、速報値です。

青森県内の保健所管内、定点(医療機関)数、警報・注意報については青森県の感染症発生状況TOPページをご覧ください。

		東青 (東地方保健所+青森市保健所)		中南 (弘前保健所)		三八 (三戸地方保健所+八戸市保健所)		西北 (五所川原保健所)		上北 (上十三保健所)		下北 (むつ保健所)		青森県計		前週からの増減
		数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	数	人/定点	
小児科 内科	インフルエンザ	10	0.77											10	0.15	-6
	RSウイルス感染症	12	1.50	14	1.56	6	0.60	10	2.00	3	0.50	3	0.75	48	1.14	1
小児科	咽頭結膜熱			2	0.22			1	0.20			1	0.25	4	0.10	-7
	A群溶血性球菌咽頭炎	7	0.88	11	1.22	10	1.00	1	0.20	7	1.17	2	0.50	38	0.90	3
	感染性胃腸炎	19	2.38	10	1.11	26	2.60	8	1.60			8	2.00	71	1.69	-9
	水痘	4	0.50	4	0.44	2	0.20	3	0.60	2	0.33	10	2.50	25	0.60	16
	手足口病	21	2.63	7	0.78	45	4.50	1	0.20	28	4.67	8	2.00	110	2.62	14
	伝染性紅斑	1	0.13	1	0.11									2	0.05	0
	突発性発しん	1	0.13	1	0.11	6	0.60			3	0.50			11	0.26	-5
	百日咳															0
	ヘルパンギーナ	7	0.88	1	0.11	2	0.20	9	1.80	1	0.17			20	0.48	-4
	流行性耳下腺炎	1	0.13			25	2.50	2	0.40	8	1.33	1	0.25	37	0.88	1
眼科	急性出血性結膜炎															0
	流行性角結膜炎	3	1.50			1	0.50							4	0.36	1
基幹	感染性胃腸炎(ロタウイルス)															0
	クラミジア肺炎															0
	細菌性髄膜炎															0
	マイコプラズマ肺炎			2	2.00	1	1.00					1	1.00	4	0.67	-3
	無菌性髄膜炎															0

は警報、は注意報。「空欄」:患者報告無し。

感染症の窓

麻しん(五類全数把握対象疾患) 第2回

麻しん(はしか)は、麻しんウイルスによって引き起こされる急性の全身感染症で、発熱や発しんなどが主な症状です。感染力が非常に強く、飛まつ感染、接触感染し、空気感染もするため、手洗い、マスクのみで予防はできません。麻しんの免疫が不十分な人が感染すると高い確率で発症します。

麻しんには**予防接種**が最も有効な予防法です。予防効果を確実にするためには、2回の接種が必要です。定期接種の対象年齢者(1歳児、小学校入学前1年間の幼児)は**麻しん風しん混合ワクチン**を定期的予防接種として受けることができます。

日本は、2015年3月に世界保健機関(WHO)の西太平洋事務局から麻しん排除状態と認定されましたが、海外では麻しんが流行している国がたくさんあります。海外からの訪問者や海外渡航者が麻しんウイルスを持ち込む事例が散見されており、日本国内においても、広域で麻しん患者が発生するリスクが高まっていると考えられています。定期接種の対象者だけでなく、医療・教育関係者や海外渡航を計画している方、麻しんにかかったことがない方、麻しんのり患歴や予防接種歴が明らかではない場合や2回接種していない場合は予防接種を検討してください。詳しくは、かかりつけ医にご相談ください。

○詳しい情報はこちらをご覧ください

☞ [麻しんについて\(厚生労働省 HP\)](#)

海外に行く方へ

みんなで目指そう
「麻しんがゼロ」

MAZINGER Z 000

麻しん(はしか)にかかったことが明らかでない場合

海外に行く前に
麻しんの予防接種履歴を母子手帳などで確認し、
2回接種していない方は予防接種を検討してください。

出典: 厚生労働省 HP

III 全数把握対象疾患

- ・結核（二類全数把握対象疾患）：青森市1人、弘前1人、八戸市3人、むつ1人 (2017年計:254人)
- ・カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症（五類全数把握対象疾患）：青森市1人 (2017年計:17人)
- ・梅毒（五類全数把握対象疾患）：青森市1人 (2017年計:58人)

IV 病原体検出情報

報告はありませんでした。

V 保健所管内別全数把握対象疾患発生状況 (2017年第40週～2017年第43週)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
40	H29.10.2 ~ H29.10.8	梅毒1人		カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症2人			
41	H29.10.9 ~ H29.10.15	E型肝炎1人	レジオネラ症1人				
42	H29.10.16 ~ H29.10.22	腸管出血性大腸菌 感染症3人	梅毒1人			つつが虫病1人	
43	H29.10.23 ~ H29.10.29	カルバペネム耐性 腸内細菌科細菌感 染症1人 梅毒1人					

VI 結核(二類全数把握対象疾患) (2017年第40週～2017年第43週) (人)

週	期 間	東青 (東地方保健所+ 青森市保健所)	中南 (弘前保健所)	三八 (三戸地方保健所+ 八戸市保健所)	西北 (五所川原保健所)	上北 (上十三保健所)	下北 (むつ保健所)
40	H29.10.2 ~ H29.10.8	3	1	2	3		
41	H29.10.9 ~ H29.10.15	3	2				
42	H29.10.16 ~ H29.10.22	1	2	3	1		
43	H29.10.23 ~ H29.10.29	1	1	3			1

Ⅶ 全数把握対象疾患発生状況（全国-青森県）（注：発生状況は速報値であり、国内で届出のあった疾患のみを掲載しています）

全国（2017年第1週～2017年第42週までの累計）

分類	二類	三類	三類	三類	三類	三類	四類	四類	四類	四類
疾病名	結核	コレラ	細菌性赤痢	腸管出血性大腸菌感染症	腸チフス	パラチフス	E型肝炎	A型肝炎	エキノкокクス症	オウム病
累積報告数	18284	7	121	3481	33	13	259	235	22	10

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類
疾病名	回帰熱	コクシジオイデス症	ジカウイルス感染症	重症熱性血小板減少症候群	ダニ媒介脳炎	チクングニア熱	つつが虫病	デング熱	日本紅斑熱	日本脳炎
累積報告数	8	1	3	83	2	3	116	213	297	1

分類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	ブルセラ症	ポツリヌス症	マラリア	ライム病	類鼻疽	レジオネラ症	レプトスピラ症	アメーバ赤痢	ウイルス性肝炎	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症
累積報告数	1	3	50	18	1	1405	37	864	235	1322

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	急性脳炎	クリプトスポリジウム症	クロイツフェルト・ヤコブ病	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	ジアルジア症	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性髄膜炎菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）
累積報告数	558	11	160	444	1119	47	292	23	2534	247

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	梅毒	播種性クリプトコックス症	破傷風	バンコマイシン耐性腸球菌感染症	風しん	麻しん	薬剤耐性アシネトバクター感染症
累積報告数	4568	106	106	66	75	188	19

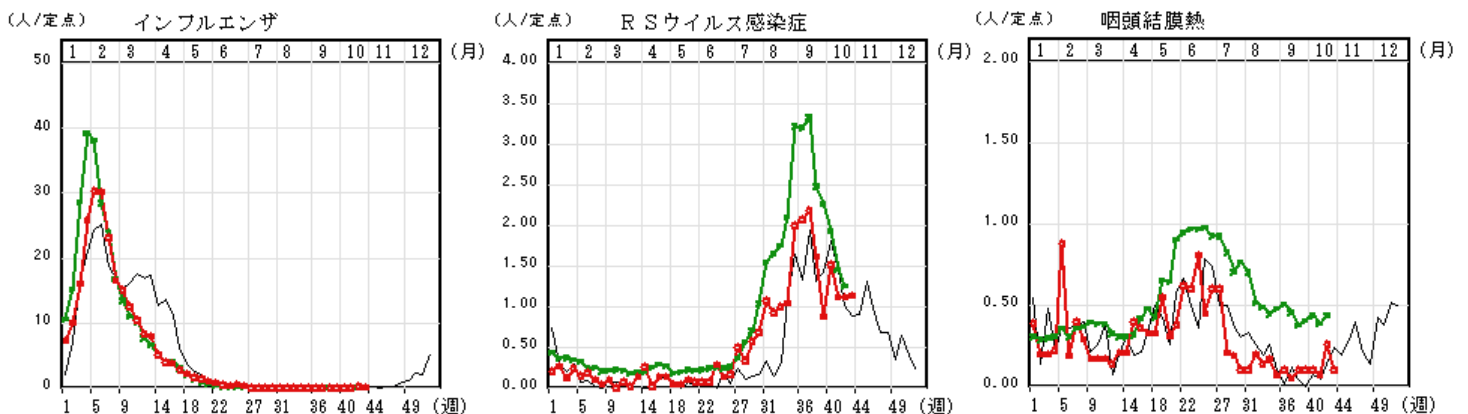
青森県（2017年第1週～2017年第43週までの累計）

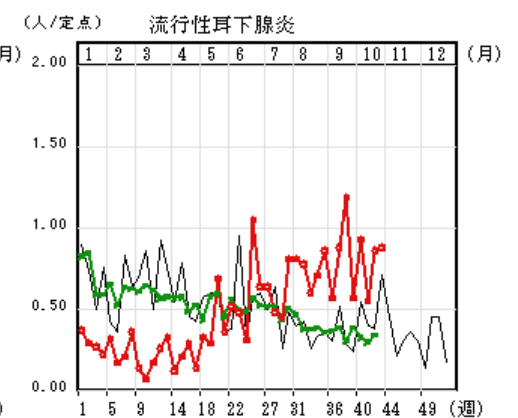
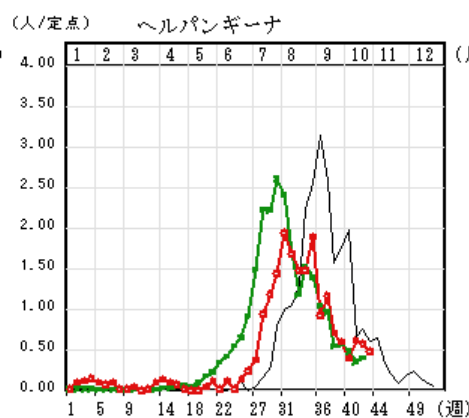
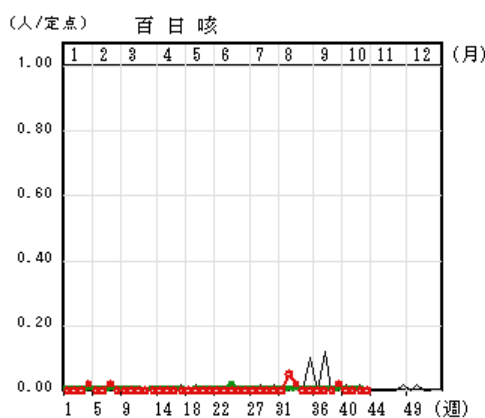
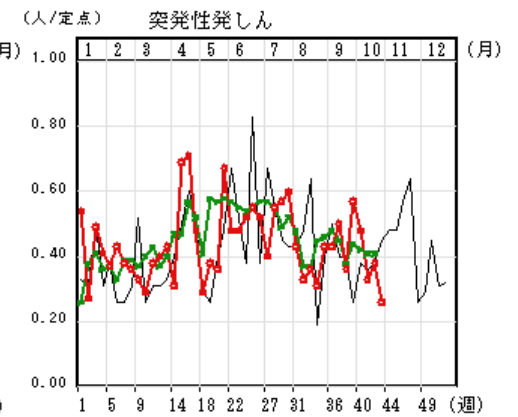
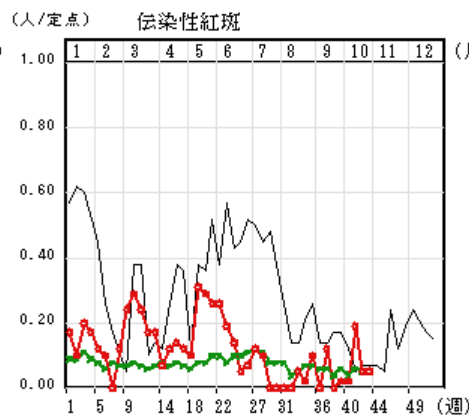
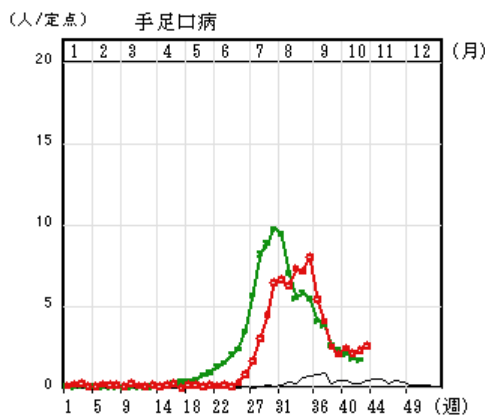
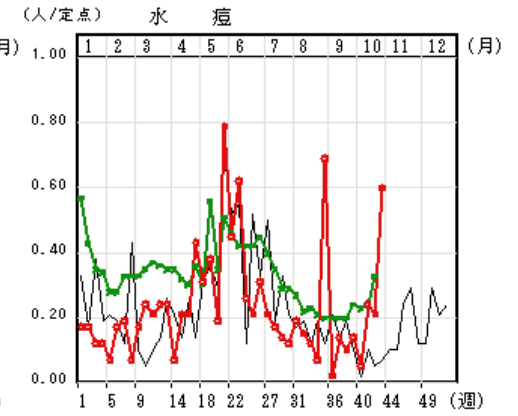
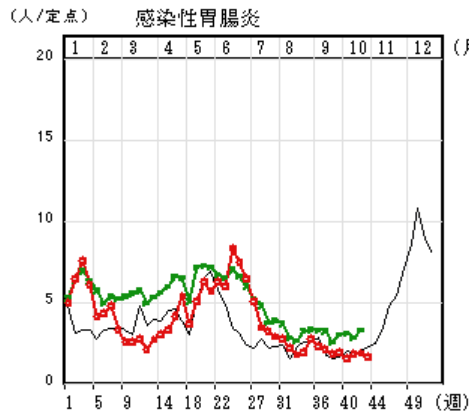
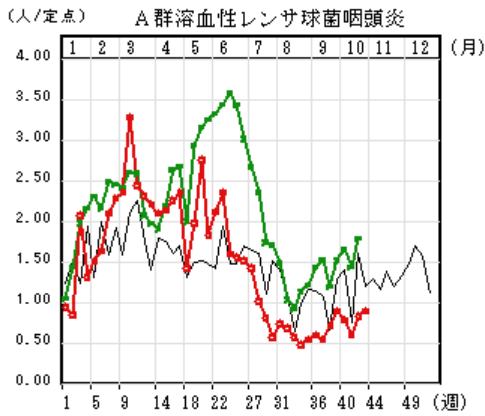
分類	二類	三類	四類	四類	四類	四類	四類	五類	五類	五類
疾病名	結核	腸管出血性大腸菌感染症	E型肝炎	A型肝炎	つつが虫病	デング熱	レジオネラ症	アメーバ赤痢	カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症	クロイツフェルト・ヤコブ病
累積報告数	254	31	7	2	11	1	8	4	17	1

分類	五類	五類	五類	五類	五類	五類	五類
疾病名	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	後天性免疫不全症候群	侵襲性インフルエンザ菌感染症	侵襲性肺炎球菌感染症	水痘（入院例）	梅毒	破傷風
累積報告数	2	5	1	8	1	58	1

Ⅷ インフルエンザ・小児科定点把握対象疾患週別推移（2017年第43週、ただし全国は前週）

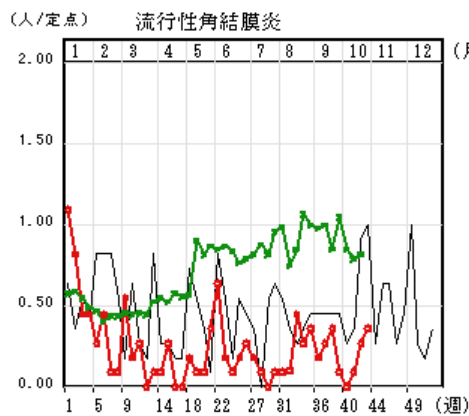
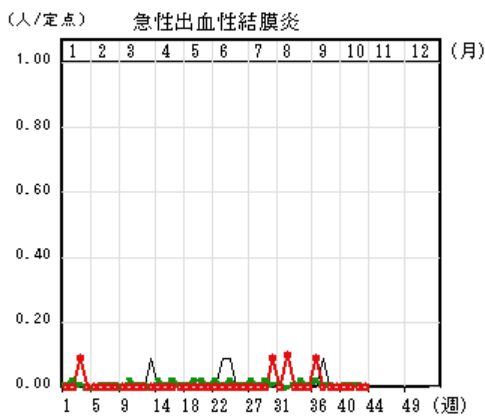
グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、×—×は2017年全国





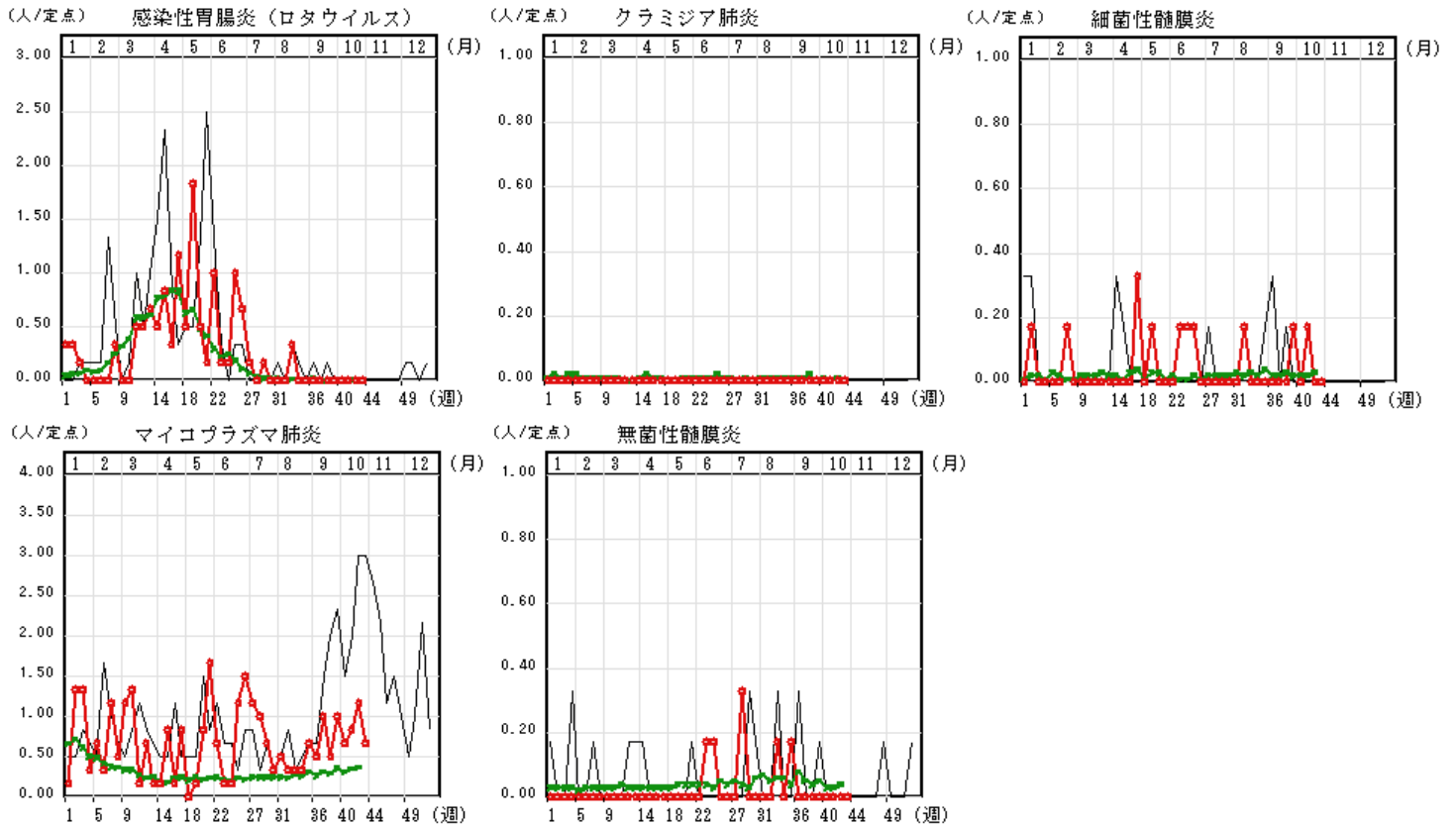
Ⅸ 眼科定点把握対象疾患週別推移 (2017年第43週、ただし全国は前週)

グラフの説明 は2017年青森県、 は2016年青森県、 は2017年全国



X 基幹定点把握対象疾患週別推移（2017年第43週、ただし全国は前週）

グラフの説明 ○—○は2017年青森県、——は2016年青森県、 ×—×は2017年全国



XI 社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑い含む）の発生状況

「社会福祉施設等における感染症等発生時に係る報告について」（平成18年2月22日付け厚生労働省健康局長、医薬食品局長、雇用均等・児童家庭局長、社会・援護局長通知）に基づく、青森県内の社会福祉施設等における感染性胃腸炎（疑いを含む）の報告件数及び発症者数は次のとおりです。

平成29年第43週
報告はありませんでした。

平成29年報告件数及び発症者数

施設種別	月(週)	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月					計 (施設別)
		1-4週	5-8週	9-12週	13-17週	18-21週	22-25週	26-30週	31-34週	35-38週	39週	40週	41週	42週	43週	
介護・老人福祉関係施設	件数	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1
	発症者数	0	12	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	12
児童・婦人関係施設等	件数	1	2	1	0	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	7
	発症者数	13	48	14	0	44	0	0	0	15	0	0	0	0	0	134
障害関係施設	件数	0	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2
	発症者数	0	43	0	38	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	81
その他施設	件数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	発症者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計(月別)	件数	1	4	1	1	2	0	0	0	1	0	0	0	0	0	10
	発症者数	13	103	14	38	44	0	0	0	15	0	0	0	0	0	227